

見方・考え方が

「ステレオタイプ」になって

いませんか？

人権の研修会で講師の方が「ステレオタイプ」という言葉を使われることがあります。

この「ステレオタイプ」とはどういう意味で使われているのでしょうか。

この言葉は、印刷業界で使われていた用語で、原稿とまったく同じものを大量に印刷するために必要な鉛板を作り出す手順、また、鉛板そのものを意味していました。

そこから転じて「まったく同じ」「型にはまった」「形式化した」を意味するようになり、さらに、『一面的なイメージだけで物事の善し悪しや、人の価値を決めてしまうこと』をいうようになりました。

よくある話ですが、血液型・性別・年齢・出身地に

よって、今まで一度も会ったことがない人のことをイメージ化したことはありませんか。

例えば、「血液型がA型の人には○○だ」とか「長男、長女は○○である」など「○○の人だから、○○だ」というイメージがこれにあたります。しかし、A型の人の中にもいろんな性格の人がいますし、もちろん長男・長女の方の中にもいろんな個性がある人がいることは皆さんもご存じのはずです。

それなのに、私たちは、知らず知らずのうちに「うわさ」「迷信」「言い伝え」などで決めつけられたイメージや考え方をコピーしてしまっているのかもしれない。

ステレオタイプで相手のことを判断しようとする

個性や才能を正しく評価・判断できなくなってしまう場合があるのです。

ある一面的なイメージだけを信じ、真実を見極めず、何の合理的な理由もなしに決めつけることは、偏見や差別を助長することにつながる恐れがあります。

人にはそれぞれに多様な個性があります。人と豊かな関係を築いていくためには、ステレオタイプではなく、合理的、客観的な判断ができるよう、対話や交流を通してその人自身の個性を見つけたし、お互いの人権を尊重し認め合うことが大切だと思います。



市人権推進課(教育庁舎1階)

TEL 32・2122

FAX 33・3525

Mail:jinkensushin@city.

komatsushima-i-tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (332) 松並敦子・選

プランターに芽吹きし水仙二、三本今朝は五本となりて
天指す
横須町 三宅 敏恵

《評》芽吹き春である。庭にもプランターにも畑にもそれぞれの花が待ってましたとばかりに芽を出し花を咲かす。三宅さんのプランターの水仙も今朝は五本の芽が競うように、元気に天を指している。この二、三が五本に増えたという気付きと「天指す」の表現に喜びと期待が込められていて、リズムよく詠まれており、これぞ春の歌である。

剪定もなさず過ぎしがふるさとの梅の木五本花咲けるころ
田浦町 西 照子

風邪に臥す枕辺にぞつと置きくれる孫の手やさし苺とポカリ
田浦町 太田カツミ

真夜に映る「テレビの泉」弟とアイスクリーム舐めし日を恋う
江田町 深田 伴子

腰痛に熊の冬眠せしごとく毎日炬燵に春を待ちいる
赤石町 田原トシ子

久し振りに会いたる友と散歩して今宵は顔の浮かび眠れず
中田町 倉橋 正則

料理の本広げて今日は牛肉と大根人参菜の花と葱で
坂野町 橋本千代乃

節分に徒歩で嫁ぎしは七十余年前小雪散る中裾巻きながら
櫛漕町 松下 玉枝

立春を間近にしての雪催い寒がり老いは風邪ひきそえる
神田瀬町 大西カヲル

侘助を愛でし知人も旅立ちて庭にひっそり白を落せり
立江町 湯浅かや子